



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度RIテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

国際ロータリー 第2780地区

寒川ロータリークラブ



事務所: 〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山7番地 サンワビル2F

TEL 0467(73)0046 FAX0467(74)0027

例会場: 寒川神社参集殿 例会日: 毎週 月曜日 18:30

会長 井上 稔 幹事 村松 一

会報委員(クラブ管理運営委員会)

鈴木正秋 石塚雄司 秋本茂雄 下里宏規 三澤京子 三留通男

第2209回例会 2022年5月16日(月) 曇り時々雨

司会 小澤副幹事

ゲスト 中門吉松様(桂川・相模川流域協議会所属、2720JapanOK ロータリーEクラブ会員)

【本日のメイクアップ済み】山本和好会員(理事会)

中門吉松様ご挨拶



会長の時間

皆様こんばんは。先ず皆様へご案内をさせていただきます。来週22日(日)は創立49周年記念家族移動例会を富士屋ホテルで行います。よろしくお祈りします。そしてその翌週29日(日)は第4グループ合同のロータリー奉仕デーです。9時からの相模川美化キャンペーンに加わっての奉仕活動になります。その後11時から参集殿にて合同例会、基調講演、懇親会となりますのでよろしくお願い致します。さて、今日は私の嗜好品である、日本酒、ウイスキーのお話をさせていただきます。先ずはウイスキーについて。ウイスキーは、原料に大麦を使用し、仕込み発酵の後2回蒸留を行い、アルコール濃度を65から70%に高めてから樽に詰めて熟成させてできあがります。ウイスキーの琥珀色、奥深い味わいの秘密は3年5年10年という樽の中での熟成にあります。樽には、樽材・うち面の焼き方・大きさが異なる様々な種類があり、どのような樽、貯蔵環境(気温・湿度)で保存されるかによって、味・色・香りなどが変わってきます。熟成期間には、エンジェルズシェア(天使の分け前)という期間を経るごとに樽の中の原酒が少しずつ気化していく現象が起こり、3年で約2.3%目減りします。そのため17年以上の長期熟成原酒はとても貴重です。世界には、アイリッシュ、スコッチ、カナディアン、アメリカン、ジャパニーズの五大ウイスキーがあります。分類としては大麦麦芽を単式蒸留器で製造して樽に詰めた、香

り豊かで個性的な味わいを特徴とするモルトウイスキーと、トウモロコシなどの穀類を原料として連続式蒸留を行って樽に詰めた軽快ですっきりした味わいを特徴とするグレーンウイスキーがあります。単一蒸留所の原酒だけでつくられたモルトウイスキーはシングルモルトウイスキー、それ以外をピュアーモルトウイスキー、モルトウイスキーとグレーンウイスキーをブレンドしたものはブレンデッドウイスキーと呼びます。ウイスキーは正しく適量に飲めば体に優しいお酒だといわれています。蒸留により低カロリーで糖質・プリン体はほとんどありません。また、長期の熟成によりポリフェノールが含まれ、樽の木の香りでリラックス効果があり、メラニン色素を抑制する成分が入っています。続きまして日本酒について。日本古語では「酒々(ささ)」、仏教僧侶の隠語で「般若湯(はんにゃとう)」、江戸時代には「きちがい水」という別称もありました。現代では、若者に「ポン酒(ぼんしゅ)」と呼ばれることもあるそうです。一般的な日本酒のアルコール度数は15~16%と醸造酒としては高い部類になり、女性や若者など軽い酒を好む消費者や、輸出を含めた洋酒との競争に対応するため、アルコール度数がビールよりやや高い程度の6~8%台や、ワインと同程度(10%台前半)の低アルコール日本酒も相次ぎ開発・販売されています。発泡日本酒では5%という製品もあるそうです。逆に、清酒と類似の原材料、製法で酒税法上の定義より高いアルコール度数(22度以上)の酒を製造することも技術的には可能です。「越後さむらい(玉川酒造)のように、清酒の製法(醸造した原酒にアルコール添加・加水しての製造)で製造されながらアルコール度数が46度に達する酒も存在します(酒税法上ではリキュール扱い)。1年以上貯蔵・熟成された清

出席報告

| 会員数 | 出席計算会員数 | 出席会員数 | 暫定出席率 | 確定出席率 |
|-------|---------|-------|--------|---------------|
| 31名 | 30名 | 29名 | 96.67% | 第2207回 93.33% |
| 本日欠席者 | 椎野会員 | | | |

酒には、貯蔵年数を表示できるようになっています。酒造メーカーによっては、1年以上経た酒に古酒、古々酒、大古酒、熟成酒、熟成古酒、秘蔵酒などの名称を冠して販売することがあります。年数と用語に関する統一された基準はありませんが、酒蔵や酒販店で組織する長期熟成酒研究会によれば3年以上寝かせた酒を指すことが多いそうです。○原酒：貯蔵後、割水もしくは加水調整(アルコール分1%未満の範囲内の加水調整を除く)をしない清酒 ○生酒：製成後、加熱処理(火入れ)を一度もしない清酒。酵母などの微生物や酵素が残っており品質が変化しやすいので、鮮度には注意が必要であり、冷蔵保存する必要があります ○生貯蔵酒：製成後、火入れをしないで貯蔵し、製造場から移出する際に火入れた清酒。貯蔵期間については規定されていない。いずれにしても適量をたしなむことが何より大事とされています。

新会員のスポンサーに「Do More Grow More」缶バッジ贈呈

島村会員

幹事報告

例会変更

なし

週報受理

寒河江RC

その他受理

●ガバナー事務所

～今年度決議案投票結果報告 → ホワイトボードに掲示

●寒川町

～相模川美化キャンペーン開催案内(5/29(日)9:00～)→第4グループロータリー奉仕デーとして参加

回覧

○ハイライトよねやま Vol.266

委員会報告・地区および地域出向者報告

親睦活動委員会 中野委員長

会長からもお話がありました通り、22日(日)は創立家族移動例会です。15時に町民センター横からバスが発します。16時に富士屋ホテルに到着しお庭を散策していただきます。例会は17時点鐘で、セレモニー後には富士屋ホテルの方から富士屋ホテルの歴史についてお話を伺います。その後、菊華荘に移動してお食事を約2時間お楽しみください。寒川帰着は20:30を予定しております。一応ドレスコードがありますのでご注意ください。

同好会報告

ゴルフ同好会 椎谷会長

第257回は取り切り戦となります。大勢の方にご参加いただき5組となりました。清川CC、10:08スタートです。

2208回スマイルボックス

合計31,000円

◎井上稔会長

- 1) 本日は5/29にご講演をいただく中門様がお越しくださいました。よろしくお願いいたします。
- 2) 次年度フォーラムよろしくお願いいたします

◎村松幹事

5/18で結婚25周年になります。一足お先に富士屋ホテルにてディナー、宿泊を予定しております。妻に感謝の意を込めてスマイル致します

◎茂内会員

5/22の移動例会が楽しみです。今回は私の妻も同席させていただきます。偶然にも誕生日と同じ日なんてなんとも運命的です。改めて紹介させていただきますので、よろしくお願いいたします。

◎青木、秋本、石腰、石塚、磯川、井上(晋)、内野、小澤、金子、菊地、島村、清水、下里、鈴木(郁)、鈴木(正)、高波、中野、中村、二見、三澤、三留、山本(哲)、若菜、各会員

クラブ協議会「2022年地区研修・協議会報告」part2

司会：石腰会長エレクト

先ほど皆さんに配布しましたのは次年度会長幹事会の次第に私がメモ書きを加えたものです。次年度IMの日程が2023年3月5日(日)と決まりました。また、当クラブのガバナー公式訪問とそれに伴うガバナー補佐訪問の日程も10月3日と10月17日となりました。10月には当クラブがホストを務めます6RC親睦ゴルフ大会:10月14日(金)と地区大会:10月15日(土)-16日(日)が予定されており、タイトなスケジュールとなっておりますが、皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。また、7月になりましたら青少年交換事業に対する要望書を茅ヶ崎中央RCから地区に提出される予定です。クラブの受け入れ方法や、来日する高校生の皆さんが気持ちよく過ごすためにはどうしたらいいのかを少し話し合った方がいいということですので。また折を見て皆さんからご意見をいただきたいと思えます。では、先週に引き続き地区研修・協議会報告をお願いいたします。

青少年奉仕部門：下里次年度奉仕プロジェクト副委員長 久保田PGがリーダーとなり約50人の担当で分科会を行いました。まずはローターアクトの説明がありました。ローターアクトは18才～30才の男女がロータリークラブの支援の下活動してきたクラブですが、年齢の枠が外れ30才卒業がなくなり一つの組織となりました。ローターアクト経験者としてちょっと驚きました。地区には14才から18才までの特に高校生を中心としたインターアクトクラブが12クラブ、ローターアクトクラブが5クラブあり活動しています。2020年青少年交換学生の2人の女性の体験談を聞きました。1人はメキシコでの1年間の話、もう1人はドイツへの交換学生で、彼女はロシアとウクライナの情勢により10ヶ月で帰国せざるを得ない状況になってしまいました。生活、文化や観光など通常では経験できない貴重な体験をすることができ、これからの人生の励みになったと言っていました。そしてまた新たにライラ(ロータ

リー青少年指導者養成プログラム)を立ち上げるとのこと。14才から30才の若い世代を対象とした短期集中型のリーダーシップ養成プログラムです。クラブ、地区、または他地区合同で運営され、参加者が新しいスキルを学びながら地域社会とかかわり、個人的・職業的に成長できる機会となることを目的としている委員会です。初めて参加して感じたことは、ロータリークラブは奥が深いいろいろ考え勉強しなければならないと思いました。最後に奨学生、交換学生募集のチラシがありますので、心当たりのある人がいる方は是非ご検討ください。

ロータリー財団部門：中野次年度国際奉仕委員長

冒頭に初めて財団部門に出席した人が手をあげさせられました。私を始め半分以上の方が初めての出席者でした。ですからわかりやすくお話してもらえるのかと思ったのですが用意された資料をそのまま進める形で、私自身一部理解できなかったところもありました。ロータリー財団とは「世界で良いことをしよう」という理念の下、人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を構築できるよう、財団支持者の方々からの自発的な寄付によって支えられている機関です。国際ロータリーの目的を推進するための単独の信託機関として、全資産を維持・投資・管理・運営しています。身近なところで地区補助金の説明がありました。地区補助金はロータリアンが地元や海外で財団の使命に沿った短期の活動やプロジェクトを実施するために活用できる補助金で、地区が管理し一つまたは複数のプロジェクトに配分します。補助金を活用してプロジェクトを実施することを希望するクラブは地区に資金を申請する必要があります。各地区はクラブからの申請方法や期日など地区独自の手続きと方針を決め財団が定めているとのこと。基本的に寄付をするだけのプロジェクトの補助金申請は通りません!と何度も強く言われていました。ロータリアンが積極的に参加することが第一条件とのこと。簡単に言えば財団とは寄付を集め使うところで中身は大変幅広い。寄付目標額は年次寄付一人200ドルですが、円安になってきているのでそれも考慮した上で寄付を集めるようにしてくださいと言われました。うちのクラブは違いますが、クラブによっては会費から自動的に寄付を差し引くところもあるようです。そういったクラブもスマイル感覚でさらに寄付を集められるようにお願いしますとおっしゃっていました。いろいろ難しい言葉も出てきて理解しづらい研修でしたが、最後に「ロータリー財団とは面倒くさくて難しい組織。わからないことがあればいつでも地区に問い合わせてください」とのことでした。

米山奨学部門：中村次年度国際奉仕副委員長

1.「絆 in モンゴル」ビデオ視聴。内容：米山学友会の第2回世界大会。第1回は熊本で開催予定だったがコロナで中止となった。第3回は茨城県つくば市で2023年8月5日-6日開催予定。学友会は日本に33団体、海外に9か国(台湾・韓国・中国・タイ・ネパール・モンゴル・スリランカ・マレーシア・ミャンマー)、合計42ある 2.相澤PGによる基調講演。内容：古沢文作氏(東京RC)が米山基金を作ってから70年。三荒米山委員長「2780地区では毎年30名くらいの奨学生を受け入れている。地区には65クラブあるの

で2年に1回は世話クラブを引き受けていただくことになる。2022年4月組は34名」 3.カウンセラーの体験談 4.質疑応答Q:米山寄付をしてくれないメンバーがいる A:会費と一緒に引き落としているクラブもある。何より米山奨学生・学友の活躍を知ってもらう。当クラブの次年度米山寄付目標は20,000円です。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

新会員部門：二見会員

ロータリーに入会して間もない中での研修でしたので、感想としてお聞きいただければと思います。まず1点目は「4つのテスト」や「ロータリーの10徳」について。「真実かどうか」「みんなに公平か」「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるかどうか」の解釈についてお話を伺いました。また「ロータリーの10徳」については〇行儀が良くなる〇顔に品が出てくる〇家族が喜ぶ等、現在の仕事においても、また私生活においても興味の高まるほほえましい話もあり、こういったところからも「enjoy Rotary」の言葉が繋がっていくのかなと印象に残りました。2点目は女性会員の参加が非常に多かったことです。「新会員部門」という場であったからかもしれませんが女性会員の多さに驚きました。また研修中の質疑応答で挙手していたのも女性会員が圧倒的に多く、研修リーダーの方から「女性ばかりだねー、男性頑張っ！」と言葉が出るほど女性会員の積極的なところが非常に印象に残りました。余談になりますが、わが社信金でも上席者にはっきりと意見を言うのは女性職員ばかりであり、男性としては少し寂しい気持ちになるときもありますが、男女関係なくロータリー精神に則り、私自身これからも勉強していきたいと思いました。

新会員部門：茂内会員

二見さんと同じ新会員部門に出席しました。4月に入会してから初めての研修でしたので勝手がわからず少し緊張しておりました。会場に到着して登録を済ませ、広い会場の片隅に着席し点鐘を待っていると、最初は少なかった人数がどんどん増えていき、こんなにもたくさんの方々と同じ志を持って集まっていることに感動しました。ここにいる方々と今後長い年月をかけて交流が持てる、いろいろな話を聞いてこれからの自分の人生の糧にできると思うととてもワクワクしました。その後分科会に分かれ、リーダーやサブリーダーの方から新会員のロータリークラブの対する心構えなどを聞きました。「ロータリーの10徳」や「ロータリアンの10か条」を読みその内容を心に深く刻み付けました。これらを今後実践し、自分の中で守っていければ私の道標になっていい人生が送れるんじゃないかという気持ちになりました。その他にもディスカッションしている間の皆さんのふるまいなどを見てみると、皆さんお話が上手で堂々としている方ばかりでした。きっとこれまでいい経験を積まれてきた方々で、ロータリーの中でもしっかりと役割を果たしていい行動をしてきた方々なんだろうと思い、自分もいつかこんな風になりたいと思いました。全体的にとっても長時間でしたので、帰りのバスの中でいただいたビールで疲れた体と頭をリフレッシュすることができました。

クラブ管理運営部門：島村次年度クラブ管理運営委員長
まず第1部の式典に圧倒されました。66クラブが集まるところにもパワーがあるのかと驚かされました。コロナ禍でもあり、必ずしも全員が出席しているわけではないとしても、大きな会場いっぱいロータリアンが集まるというのは非常にパワーがあるものだと思います。その後の分科会では田中PGのリードの下、クラブ管理運営委員会全般についてディスカッション形式でグループ討議を行いました。テーマは「如何に皆さんが出席していただける例会を企画運営していくか」。ここ最近のコロナの状況で出席されなくなる会員が多くなったこと、また出席率というものが過去とは違ってきていることなどを含めて、例会に来られない会員が増えてしまっているという意見が私のテーブルの6クラブの皆さんからありました。寒川のやり方の報告をし、寒川の出席率の高さをお話して、他クラブからは大変ビックリされ「素晴らしいですね」と言っていただきました。その中で「with コロナ」の時代、どのように例会を充実させていくのかということが大きな課題となっていると、どのクラブも言われていました。私のテーブル6クラブのうち4クラブは緊急事態宣言中ずっと休会していたそうですし、リモート例会を実施していたクラブではどうしても片方向の例会になりがちであったとのこと。何か工夫をしなければならないとはわかっていても新しいアイデアが出てこないという状況です。例会を盛り上げるにあたってどんなことをしているかお聞きすると、寒川と同じように席を毎回くじ引きにしているいろいろな会員とコミュニケーションが図れるようにシマンネリ化を防ぐ工夫をされていたり、あるいは、多少お金をかけても皆さんが聞きたいと思う卓話者をお呼びして参加者を増やそうとされていたり。今までやってきたことを行うばかりで新鮮なきっかけはつかむことができませんでした。先日、平塚湘南RCの例会に河野太郎氏が卓話に来られるということで初めて平塚湘南RCに伺いました。もちろん卓話がすべてではありませんが、そのクラブの例会に出席したいと思わせるコンテンツがあると他クラブであっても出席いただけると思いました。次年度クラブ管理運営委員長として次年度石腰会長の下、寒川神社とコラボした企画を行いそのまま例会に足を運んでいただけるような企画が作れないかと考えています。それを「こんな例会を行いますよ」と事前に各クラブに発信し、メイクアップに行ってみたいと思っていただけるような例会が企画できたらいいなと、今回の研修に参加して感じた次第です。次年度クラブ管理運営委員長として、次年度一年間頑張ってもらいますので、どうぞよろしくお願いいたします。

次年度研修委員 三澤ガバナー補佐(会員増強部門サブリーダー)

今回の地区研修・協議会は佐藤ガバナーエレクト年度を担う各クラブの方たちに集まっていただきました。ここ2年はコロナにより実施されなかった対面での地区研修・協議会が3年ぶりに実施され、出席者も例年より多く、また女性会員も多く出席していただきました。会員増強部門では森PGがリーダーとなりお話をいただきました。今までの流れから2年のお休みを経て新しい段階へと移行していく地区研修・協議会となりました。相模原市民会館と

その周辺の会議室を会場とし皆様には雨の中移動をお願いすることになりましたが、最後の懇親会にはたくさんの方が残ってくださいました。特に今年度会員増強目覚ましかった座間RCと小田原城北RCの皆さんは新会員さんも最後の最後まで残って皆さんと交流していらっしゃいました。次年度の地区研修・協議会では寒川の皆さんもぜひ最後まで残って懇親会での親睦を深めていただけたらと思います。

石腰会長エレクト

2週にわたって地区研修・協議会の報告をいただきました。ありがとうございました。